

## 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
3-⑥	交通の利便性を高める	まちづくり政策部、土木部

### 所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	計画 策定時	実績値				31年度 目標値	進捗 状況
			27年度	28年度	29年度	30年度		
路線バスの乗り継ぎ環境の整備進捗率	%	41	41	47	47	47	65	C
幹線道路のボトルネック交差点の改良進捗率	%	12	13	15	16	17	40	C

### 関連事業

○南北都市軸への新しい公共交通導入事業○バス利用促進事業○幹線道路整備事業○街路整備事業

### 決算額

	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費(千円)	119,814	134,902	115,171	
執行率(%)	75.71	59.71	62.35	

### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・路線バスの利用促進に寄与するサイクル&バスライド整備の事前準備を進めるとともに、南北都市軸を含む市内全体の公共交通のビジョンを示す「平塚市地域公共交通網形成計画(案)」を策定しました。
- ・広域道路ネットワークの整備促進のため、国や県に対し要望活動を行うとともに、歩道設置工事や用地買収等を行い、交通の円滑化と歩行者の安全確保を図りました。

### 施策を推進する上での「課題(・)」と課題解決を図るための「取組方針(⇒)」

- ・ツインシティ大神地区のまちづくりの進捗にあわせて、平塚駅周辺とを結ぶ南北都市軸に新しい公共交通を導入するため、関係機関との協議を進めるとともに、さらなるバス利用の促進を図る必要があります。
- ⇒南北都市軸への新しい公共交通の導入に向けて、交通事業者や交通管理者等の関係機関との具体的な協議や沿線地域等との調整を進めるとともに、バス事業者との連携によりバス停の待合い環境の向上やサイクル&バスライドの整備に取り組みます。
- ・幹線道路、街路の整備は、相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。
- ⇒「道路中期ビジョン」に基づき、引き続き幹線道路や街路整備の推進に取り組みます。